平成22年度 財政状況資料集

総括表 (市町村)

	- (-I-							指定団体等	の指定状況		区分	半成2		平成21年度(十円)	区 分		平成22年度(十円·%)	平成21年度(十円·%)
	都道府県名	Ц	1形県	市町	村類型	п -	- 1	財政健全化等	X	歳人総額			6, 808, 279 6, 123, 285	6, 245, 363	実質収支比率 経常収支比率	•	13. 9 84. 4	8. 8 87. 9
				1				財政性主11.等 財源超過		歳出総額 歳入歳出	羊 21		6, 123, 285	383, 680			(92.8)	(94.8)
	市町村名	小国町		地方交	付税種地	2-	-1	首都	×		是別 繰越すべき財源		103, 413		標準財政規模		4, 188, 220	4, 107, 552
								近畿	×	実質収支			581, 581	360, 302	財政力指数		0.31	0. 32
		22年国調(人	8, 862		•	産業構造		中部	×	単年度収	支		221, 279	117, 311	公債費負担比率		15. 7	19. 6
	人口	17年国調(人)	9, 742			庄未 博坦		過疎	0	積立金			20, 269	100, 397	健全化判断比率			
		増減率 (%)	9.0	[区分	17年国調	12年国調	山振	0	繰上償還	金		-	-	実質赤字比率		-	-
		23.03.31(人	8, 981	·	第1次	333	406	低開発	×	積立金取	崩し額		-	-	連結実質赤字比率		-	-
住	民基本台帳人口	22.03.31(人)	9, 135	Я	51次	7. 2	7. 9	指数表選定	0	実質単年	度収支		241, 548	217, 708	実質公債費比率		13. 5	15. 0
		増減率 (%)) -1.7	411	第2次	2, 221	2, 570			基準財政	収入額		960, 646	961, 959	将来負担比率		75. 5	97. 4
	面積(km)		737. 55	Я	52次	48. 0	50. 2			基準財政	需要額		3, 549, 149	3, 544, 686	資金不足比率(※3)			
人口	T密度(人/km)		12	4	第3次	2, 072	2, 147			標準税収	入額等		1, 220, 417	1, 225, 565				
†	世帯数(世帯)		3, 036	Я	50次	44. 8	41.9			経常経費	充当一般財源等		3, 532, 552	3, 628, 672				
				職	員の状況					歳入一般	財源等		5, 137, 402	5, 126, 887				
	区分	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均									
	巨刀	上数	給料月額(百円)			区刀	(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現	在高		5, 968, 384	5, 970, 220				
特	市区町村長	1	6, 885	_	一般職員		103	307, 661	2, 987	うち公	的資金		4, 315, 464	4, 226, 137				
면	副市区町村長	1	5, 670	般	うち消	肖防職員	1	-	-	債務負担	行為額(支出予定額)		613, 613	216, 763				
肿	収入役	_		- 職		支能労務職員	6	17, 394		収益事業			-	-				
等	教育長	1	5, 320	員	教育公務	务員	1	3, 839	3, 839	土地開発	基金現在高		150, 000	150, 000				
•,	議会議長	1	3, 100	等	臨時職員	i	1	-	-	積立金	財政調整基金		473, 093	452, 824				
	議会副議長	1	2, 500		合計		104	311, 500	2, 995	現在高	減債基金		55, 811	55, 778				
	議会議員	10	2, 350		ラスパイ	イレス指数			90. 5	シに口口	その他特定目的基金		471, 436	408, 145				
	•	•	•		·	•	•	•				·	•			•		•
一般	会計等の一覧		事第	美会計の-	一覧			公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)	の一覧		関係する一部事務	組合等一覧	地方公社・第	ミニセクター等一覧	
項番		会計名	項看	昏		会計名		項番	会計名		項番	会計名		項番	組合等名	項番	団体名	(※2)
(1)	一般会計		(2)) 国民健康保険事業特別会計			(7) 水道事業会調	i l		(11) 簡易水道事業特別	会計		(13) 置賜広域行政事	務組合	(21) 小国いき	いき街づくり公社	
(1)	一般会計							(7) 水道事業会計			(11) 間易水迫事業特別	リ会計		(13) 直肠広域行政事	務組旨	(ZI) 小国いき	いざ街つくり公社	

(3) 介護保険特別会計

(4) 後期高齢者医療特別会計

(5) 老人保健特別会計

(6) 訪問看護特別会計

(8) 工業用水道事業会計

(9) 病院事業会計

(10) 老人保健施設事業会計

(12) 下水道事業特別会計

(14) 西置賜行政組合

(15) 山形県後期高齢者医療広域連合(普通会計分)

(22) 小国町土地開発公社

(23) おぐに白い森

(16) 山形県後期高齢者医療広域連合 (事業会計分)

(17) 山形県消防補償等組合

(18) 山形県自治会館管理組合

(19) 山形県市町村交通災害共済組合

(20) 山形県市町村職員退職手当組合

/ ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。 ※3:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

山形県小国町

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の	状況 (単位 千円					地方税の物	状況(単位 千円・	%)	
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過課税分
地方税	1, 003, 653	14. 7	1, 003, 653	26. 4	普通税		1, 000, 455	99. 7	-
地方譲与税	78, 325	1. 2	78, 325	2. 1	法定普通税		1, 000, 455	99. 7	-
利子割交付金	2, 661	0.0	2, 661	0. 1	市町村民税		279, 694	27. 9	-
配当割交付金	1,000	0.0	1,000	0.0	個人均等割		12, 106	1. 2	-
株式等譲渡所得割交付金	302	0.0	302	0.0	所得割		230, 281	22. 9	-
地方消費税交付金	88, 764	1.3	88, 764	2. 3	法人均等割		23, 617	2. 4	-
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割		13, 690	1.4	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税		657, 212	65. 5	-
自動車取得税交付金	17, 954	0.3	17, 954	0.5	うち純固定資産	税	606, 024	60. 4	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税		17, 290	1.7	-
地方特例交付金	19, 079	0.3	19, 079	0.5	市町村たばこ税		46, 259	4. 6	-
児童手当及び子ども手当特例交付金	11, 210	0. 2	11, 210	0.3	鉱産税		-	-	-
減収補塡特例交付金	7, 869	0. 1	7, 869	0. 2	特別土地保有税		-	-	-
地方交付税	2, 981, 966	43.8	2, 588, 503	68.0	法定外普通税		-	-	-
普通交付税	2, 588, 503	38.0	2, 588, 503	68. 0	目的税		3, 198	0.3	-
特別交付税	393, 463	5.8	-	-	法定目的税		3, 198	0.3	-
(一般財源計)	4, 193, 704	61.6	3, 800, 241	99.8	入湯税		3, 198	0.3	-
交通安全対策特別交付金	1, 594	0.0	1, 594	0.0	事業所税		-	-	-
分担金・負担金	43, 548	0.6	-	-	都市計画税		-	-	-
使用料	77, 150	1. 1	1, 671	0.0	水利地益税等		-	-	-
手数料	6, 397	0.1	-	-	法定外目的税		-	-	-
国庫支出金	874, 050	12.8	-	-	旧法による税		-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	合計		1, 003, 653	100.0	-
都道府県支出金	345, 953	5. 1	-	-	区分		平成22年度		平成21年度
財産収入	17, 236	0.3	3, 078	0. 1	徴収率 現 合計		99. 2		99.1 95.4
寄附金	1, 765	0.0	-	-	(04) 左 計 印刷	「村民税	99. 7		99. 3 97. 0
繰入金	101, 849	1.5	-	-	(70) 生 純固	定資産税	98. 9	93. 5	98. 9 94. 1
繰越金	383, 680	5. 6	-	-					
諸収入	36, 953	0. 5	516	0.0	公営事業等/			康保険事業会計	
地方債	724, 400	10.6	-	-	合計	805, 199	実質収支	·	45, 827
うち減収補塡債(特例分)	-		-	-	病院		再差引収支		36, 884
うち臨時財政対策債	379, 200	5. 6			下水道		加入世帯数(世帯))	1, 206
歳入合計	6, 808, 279	100.0	3, 807, 100	100.0	工業用水道	51, 500	被保険者数(人)	*** / 바시 / 비ল 그 학조	2, 000

公営事業等へ	への繰出	国民健康保険事業会計の状況								
合計	805, 199	実質収支	45, 827							
病院	230, 000	再差引収支	36, 884							
下水道	143, 000	加入世帯数(世帯)	1, 206							
工業用水道	51, 500	被保険者数(人)	2, 000							
介護サービス	40, 241	被保険者 (保険税(料)収入額	64							
国民健康保険	51, 661	検体映句 国庫支出金 1人当り 国際が7.2世	111							
その他	288, 797	│ 「ヘヨッ │ 保険給付費	280							

(注釈) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

	歳出の)状況(単	位 千円・%)			
	目的別歳		(単位 千円・%)			
区分	決算額(A)	構成比	(A) のうち普通建	置設事業費	(A)のうち充	当一般財源等
議会費	83, 009	1.4		-		83, 009
総務費	1, 209, 401	19.8		503, 280		638, 967
民生費	1, 195, 056	19.5		5, 808		723, 315
衛生費	438, 488	7. 2		6, 622		417, 838
労働費	51, 821	0.8		_		7, 281
農林水産業費	214, 906	3. 5		50, 905		160, 446
商工費	368, 348	6. 0		75, 151		294, 549
土木費	913, 400	14. 9		312, 134		533, 018
消防費	232, 878	3. 8		18, 843		213, 714
教育費	581, 160	9. 5		38, 021		558, 270
災害復旧費	15, 310	0.3		-		15, 310
公債費	819, 508	13. 4		_		806, 691
諸支出費	-	-		_		-
前年度繰上充用金	_	_		_		_
歳出合計	6, 123, 285	100.0		1, 010, 764		4, 452, 408
成出口口	性質別歳		(単位 千円・%)	1,010,701		1, 102, 100
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当	4一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	2, 292, 640	37. 4	1, 858, 595		1, 852, 783	44. 3
人件費	886, 968	14. 5	840, 268		837, 385	20. 0
うち職員給	554, 625	9. 1	517, 404		_	-
扶助費	586, 164	9.6	211, 636		208, 707	5.0
公債費	819, 508	13. 4	806, 691		806, 691	19. 3
内 元利償還金	819, 508	13. 4	806, 691		806, 691	19. 3
訳 一時借入金利子	_	-	_		_	-
その他の経費	2, 804, 571	45. 8	2, 408, 578		1, 679, 769	40. 1
物件費	790, 351	12.9	655, 486		533, 837	12. 8
維持補修費	426, 385	7.0	309, 035		197, 367	4. 7
補助費等	907, 608	14.8	842, 948		568, 856	13. 6
うち一部事務組合負担金	289, 346	4. 7	282, 446		281, 201	6. 7
繰出金	481, 846	7. 9	417, 629		379, 709	9.1
積立金	183, 593	3. 0	183, 000		· –	-
投資・出資金・貸付金	14, 788	0. 2	480		-	-
前年度繰上充用金	_	-	-			
投資的経費計	1, 026, 074	16.8	185, 235			
うち人件費	7, 641	0.1	7, 641			
普通建設事業費	1, 010, 764	16. 5	169, 925			
うた 雄 助	651, 629	10.6	22, 413			
八 スナ 当 油	351, 874	5. 7	146, 171			
訳 災害復旧事業費	15, 310	0. 3	15, 310			
失業対策事業費	_	-	_			
歳出合計	6, 123, 285	100.0	4, 452, 408			

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村) 平成22年度 山形県小園町 般会計等の財政状況(単位:百万円) 方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万F 会計名 地方債 現在高 经常损益 純資産又は 正味財命 施装団体から 出資金 一般会計等 自用見込額 | Company | Comp 訪問看護特別会計 水道事業会計 工業用水道事業会計 病院事業会計 老人保健施股事業会 法適用企業 法非適用企業 簡易水進事業特別会 下水道事業特別会計 法非適用企業 **書係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万**日 1 置限広域行政事務総合 5, 373 723 3, 729 山形果後期高齢者医療広域連合(普通会計分 5根後期高齢者医療広域連合(事業会計 実質公債費比率 (干円 平成20年度 平成21年度 平成22年度 分母比 平成20年度 平成21年度 平成22年度 1,072,544 1,015,442 819,508 平成20年度 平成21年度 平成22年度 6,328,477 5,970,220 5,968,384 可来與原稿 一条会計等に在心的方便の確定。 情報及即行為上高づ了反此方理 少常企業即等地入及結構 指的等數學學及結構 但第二年的世界及結構 提立立人中の資際等與因及結 提立立人中の資際等與因及結構 組修業產業實育子提供歷及結 由 PFI事業に係るもの いわゆる五省協定等に係るもの 国営土地改良事業に係るもの 10, 738, 100 1, 279, 808 96, 481 6, 085, 040 7, 461, 329 10, 437, 435 1, 359, 674 85, 729 6, 312, 192 7, 757, 596 等 充当可能基金 1,010,925 充当可能特定歳入 878, 355 217, 856 93, 958 82, 240 946, 851 328, 213 102, 490 基準財政需要額算入見込額 6, 310, 959 7, 428, 781 病院事業会計 工業用水道事業会計 911, 358 273, 461 12, 325 12,100 11, 876 企業債等 組入見込額 簡易水道事業特別会計 100,410 その他の会計 地方道路公社に係る将来負担額 84, 817 利子補給に係るもの 財政規模 土地開発公社に係る将来負担額 その他第三セクター等に係る将来負担額 4, 156, 076 820, 845 3, 335, 231 4, 107, 552 744, 964 3, 362, 588 入公債費等の額

12. 6 25. 0 35. 0 75. 6 350. 0

財政再生基準

実質公債費比率 ((ア) - (ウ)) / ((イ) - (ウ)) × 1 0 0

実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率

健全化判断比率 平成22年度(再掲) 早期健全化基準

※平成20年度決重の元料償還金は特定財源の額を控除しており、薬期一括領運地方債に係る年度割相当額は核立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。 ※実質公債責比率の(パア)-(ウ))は特定財源の額を控除している。

(3)市町村財政比較分析表(普诵会計決算)

平成22年度

山形県小国町



当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 最大値及び最小値

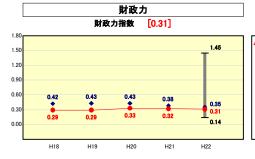
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

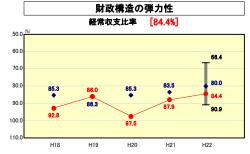
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



類似団体内順位 山形県平均 24/48 0.35

†政力指数の分析機

町内中核産業である製造業や建設業の景気低迷により町税が減少しているため、財政力指数 は0.32から0.31へと悪化し、未だ類似団体内平均を下回っている。景気回復の見通しも困難なこと から、今後も個人・法人町民税の滅収が予想される。このため、税収等の徴収率向上対策を中心 とする歳入確保に努めるとともに、職員の定員管理・給与の適正化等による歳出の抑制に努める。



人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [224,670円]

170,843

類似団体内順位 87.1

増加支出席の分析権

類似团体内順位

120,148

181,367

224,670

平成22年度は、景気の低迷により税収が減少したものの、地方交付税や臨時財政対策 債が増収となったため、経常収支比率は87.9%から84.4%に改善した。

ただし、景気の低迷や人口減少により、今後も税収の減少が予想され、地方交付税等の 見通しも困難となっている。一方で小学校建設等の大型事業に係る公債費の増加が見込 まれることから、今後とも自主財源の循程大島出の抑制に努める。



山形県平均 114.985 125,975

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

本町は豪雪地帯であるため、維持補修費である除排雪経費が冬季間に発生し、類似団体内平 均よりも高い224.670円となっている。平成22年度は隆雪量が増え、平成21年度と比較して経費が 増加している。今後とも経費を抑制しつつ安定的な除排雪対策に取り組むため、除雪対象路線や 出動基準の適正化を行い、効果的な執行に努めていく。

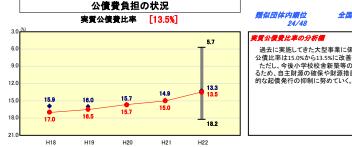




※ 会相比率の分析機

平成10年度前後までに実施してきた商店街活性化事業等の大型事業に係る公債費が償 環のピークを過ぎて年々減少しており、また、病院事業等の企業会計や特別会計における 地方債残高も減少していることから、将来負担比率は97.4%から75.5%に改善している。し かし、公債費は依然として高い水準で推移するため、類似団体内平均よりも高い値となって

なお、今後は小学校統廃合に伴う校舎新築等の大規模事業を予定しており、地方債残高 の増加が見込まれる。このため、自主財源の確保や財源措置のある有利な地方債制度の 活用を図るとともに、継続的な起債発行の抑制に努めていく。



類似団体内順位 山形県平均 24/48 14.3

を留公信着比率の分析機

過去に実施してきた大型事業に係る公債費が償還のピークを過ぎて減少しており、実質 公債比率は15.0%から13.5%に改善し、類似団体内平均と同程度となっている。 ただし、今後小学校校舎新築等の大規模事業実施に伴う地方債残高の増加が見込まれ るため、自主財源の確保や財源措置のある有利な地方債制度の活用を図るとともに、継続



H20

H21

H22

H18

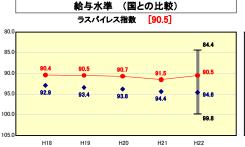
H19

山形県平均

人口千人当たり職員数の分析を

本町では、平成15年3月に定員管理適正化計画を策定し、また、平成18年3月には「小国 町行財政改革推進方針(集中改革プラン)」を設置して計画を更新しながら、これまで計画 的に職員数の削減を進めており、平成22年度は類似団体内平均より少ない11.58人となっ

なお、本町は面積737.55平方キロメートルと広大であり、そのなかに90余の集落が散在 し、周囲を山岳地に囲まれ、他の市町村からも遠隔となっている。必要な行政サービスを維 持しながら、スリムで効率的な行財政運営を行っていくため、今後も定員管理適正化計画に 基づき、計画的に職員数の管理を行っていく。



類似団体内順位 95.3

スパイレス指数の分析機

平均給与月額が前年度の324.5千円から277.8千円に下がったこと等により、指数は91.5から90.5 へ1ポイント減少し、依然類似団体内平均を大きく下回っている。

250,000 300,000 299,651 350.00 H20 H21 H22

164,244

50,000

158,985

100,000

150,000

200.000

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

6.0

10.5

12.8

17.8

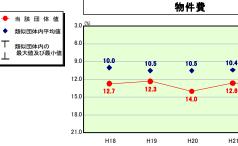
H22

山形県小国町

経常収支比率の分析



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 38/48 全国平均

山形県平均 10.7

物件費の分析欄

求職者の臨時職員等への雇用経費、税システムや庁内ネットワークシステム の改修・更新経費等により支出額は前年度から増加したため、比率は前年度か ら0.2ポイントの増加の12.8%となった。

また、過疎地域自立促進対策として整備を行ってきた観光交流施設等の維持 管理経費がかさんでおり、類似団体内平均よりも高い割合となっている。施設 管理への指定管理者制度の導入により経費削減を図っており、今後も歳出全般 の抑制に努めていく。



類似团体内順位 10/48

25.1

山形県平均

24.2

63

山形県平均

19.3

人件費の分析欄

平成15年3月に定員管理適正化計画を策定し、職員数の削減、特殊勤務手当の廃 止、特別職の報酬や管理職手当の減額等に取り組み、以降も継続的に人件費の抑制 に努めてきた結果、20.0%と類似団体内平均値を下回った。今後も定員管理適正化計 画に基づき、人件費の抑制に努める。



30/48

山形県平均 10.1

10.7

山形県平均

山形県平均

67.8

15.9

補助費等の分析欄

地方交付税等が増収となったものの、病院事業会計負担金等が増額となったことか ら、比率は前年度から0.4ポイント増加して13.6%となった。類似団体内平均を上回っており、今後も歳出全般の抑制と自主財源の確保に努めていく。



扶助費の分析欄

保育所入所者数が増加したことによる児童福祉費の増加や、子ども手当の創設によ る増要因により、数値は4.6から5.0へと上昇した。なお、類似団体内平均を上回ってお り、町独自の子育て支援策等を推進しつつ、効率的な事業の執行を図っていく。

104



類似団体内順位 その他の分析欄

31/48

後期高齢者医療特別会計での療養給付費の伸びや下水道事業特別会計で の管渠建設事業の増加等の要因により、繰出金の金額が増加している。また、 学校建設基金等への基金積立を行ったことから支出額が伸び、比率は前年度 から0.4ポイント増加して13.7%となった。

なお、特別会計に対する繰出金については、事業内容の見直しや事業量の精 査等により、繰出し額の抑制を図っていく。



公債費の分析欄

平成10年度前後までに取り組んだ大型事業に係る公債費について、償還の ピークが過ぎたことから、前年度の24.3%から5ポイント減少し19.3%となってい

19.0

全国平均

なお、小学校の統廃合に伴う校舎新築等の大規模事業を進めており、今後は 新たな借り入れによる地方債残高の増加が見込まれることから、自主財源の確 保や財源措置のある有利な地方債制度の活用を図るとともに、引き続き歳出全 般の抑制に努めていく。



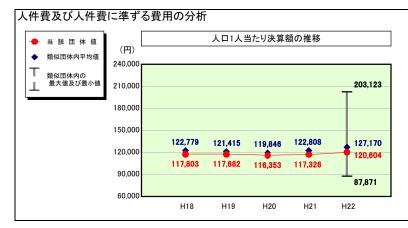
33/48 公債費以外の分析機

子ども手当等の扶助費、他会計負担金等の補助費やその他特別会計繰出金の支出 額が伸びたことにより、公債費以外の経費については前年度63.6%から65.1%へと増と なった。類似団体内平均よりも高い値となっており、今後も歳出全般の抑制と自主財源 の確保に努めていく。

全国平均

70.2

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)



人口1人当たり決算額 当該団体(円) 類似団体平均(円) 対比(%) 98,760 105,807 人件費及び人件費に準ずる費用 当該団体決算額 (千円) 人件費 886, 968 賃金 (物件費) 61 126 6 806 10 330 **▲** 34 1 一部事務組合負担金 (補助費等) 189, 247 21, 072 14, 631 44. 0 公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等) 公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金) 446 公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金) 31, 748 3, 535 5, 274 **▲** 33.0 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) 2, 389 **1**1, 795 7, 641 **▲** 64.4 ▲ 93, 586 1, 083, 144 ▲退職金 合計 **▲** 10, 420 **▲** 11.7 120, 604 127, 170 ▲ 5.2

<u>参考</u>			
	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	11. 58	11. 87	▲ 0. 29
ラスパイレス指数	90. 5	94. 6	▲ 4.1

公債費及び公債費に準ずる費用の分析 人口1人当たり決算額の推移 当該団体値 (円) 類似団体内平均値 100,000 類似団体内の 最大値及び最小値 80,000 66,923 53,993 52,963 53,723 60,000 40,000 40,620 45.158 44,821 43,578 42,086 20,000 14,135 H18 H19 H20 H21 H22

公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)				
	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	819, 508	91, 249	78, 362	16. 4
積立不足額を考慮して算定した額	-	=	-	=
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	185, 652	20, 672	25, 317	▲ 18.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	38, 804	4, 321	6, 222	▲ 30.6
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する 一般財源等額	12, 597	1, 403	3, 287	▲ 57.3
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	10	-
▲特定財源の額	▲ 12, 817	▲ 1, 427	▲ 3, 608	▲ 60.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額 合計	▲ 642, 709	▲ 71, 563	▲ 68, 971	3. 8
合計	401, 035	44, 654	40, 620	9. 9
※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基	づく実質公信費比	率を算出していな	い団体については、	グラフを表記し.

(参考) 普通	建設事業費の)分析				
	(E)		人口1人	当たり決算額	の推移	
	(円) 「					
	180,000					
	140,000					
	120,000					•
	100,000				•	_
	80,000					
	60,000					
	40,000					
	20,000					
	0 -	H18	H19	H20	H21	H22
	Γ	—— 当該	団体値	•	類似団体内-	平均値

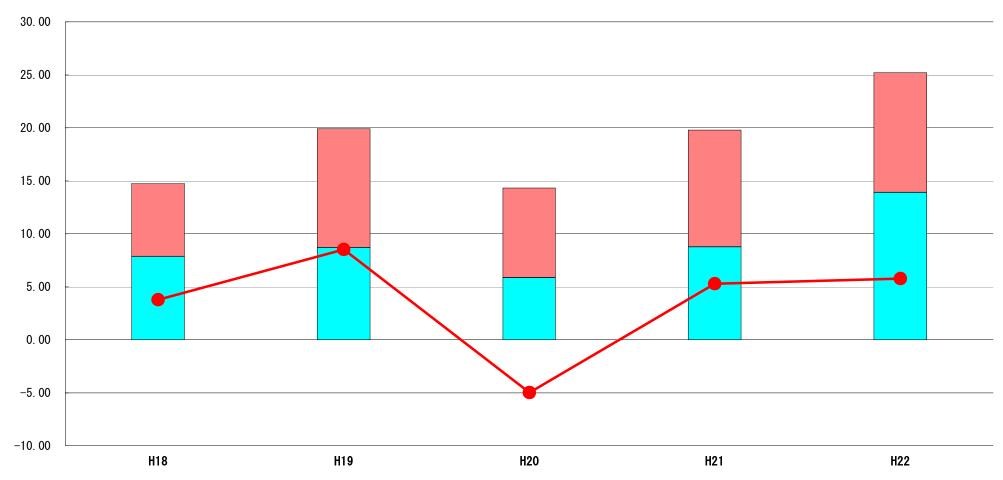
普通建設事業費							
		当該団体決算額		人	.ロ1人当たり決算額	額	
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
H18		479, 205	50, 079	▲ 10.3	63, 426	12. 7	▲ 23.0
	うち単独分	406, 391	42, 470	26. 2	41, 771	12.0	14. 2
H19		443, 319	47, 106	▲ 5.9	62, 772		▲ 4.9
	うち単独分	383, 262	40, 725	▲ 4.1	42, 833	2. 5	▲ 6.6
H20		416, 708	45, 040	▲ 4.4	65, 371	4. 1	▲ 8.5
	うち単独分	238, 714	25, 801	▲ 36.6	41, 126	▲ 4.0	▲ 32.6
H21		749, 455	82, 042	82. 2	109, 926		14. 0 22. 8
	うち単独分	425, 464	46, 575	80. 5	64, 844	57. 7	
H22		1, 010, 764	112, 545	37. 2	133, 616	21.6	15. 6
	うち単独分	351, 874	39, 180	▲ 15.9	57, 933	▲ 10.7	▲ 5.2
過去5年間平均		619, 890	67, 362	19. 8	87, 022	21. 1	▲ 1.3
	うち単独分	361, 141	38, 950	10.0	49, 701	11.5	▲ 1.5

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成22年度

山形県小国町

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分	H18	H19	H20	H21	H22
財政調整基金残高	6. 87	11. 20	8. 48	11. 02	11. 30
実質収支額	7. 87	8. 71	5. 85	8. 77	13. 89
一 実質単年度収支	3. 79	8. 52	▲ 4.97	5. 30	5. 77

分析欄

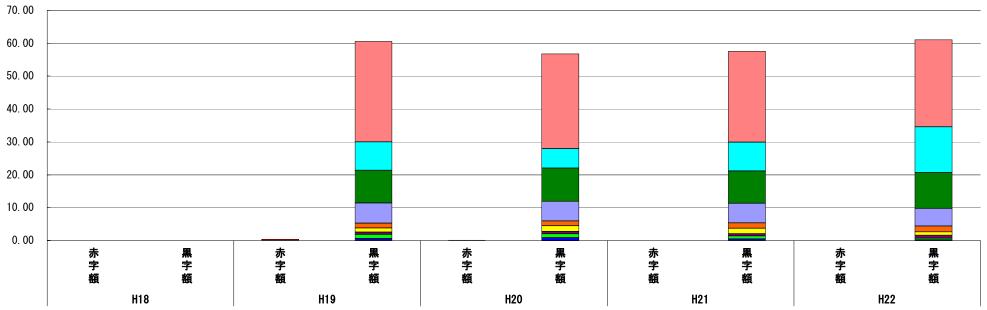
平成22年度は、地方交付税や臨時財政対策債等の歳入が増え、これにより実質収支が増となったが、基金積立金額は伸びなかったことから、実質単年度収支は前年度からほぼ横ばいの状況となった。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成22年度

山形県小国町

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

年度 会計	H18	H19	H20	H21	H22
病院事業会計	-	30. 54	28. 84	27. 66	26. 55
一般会計	-	8. 71	5. 85	8. 77	13. 89
水道事業会計	-	9. 89	10. 14	9. 84	10. 89
老人保健施設事業会計	-	6. 16	5. 95	5. 89	5. 42
工業用水道事業会計	-	1. 39	1. 45	1. 66	1. 73
国民健康保険事業特別会計	-	1.34	1.81	1. 67	1. 09
簡易水道事業特別会計	-	0. 63	0. 69	0. 72	0. 80
訪問看護特別会計	-	1. 25	1. 12	0. 85	0. 49
その他会計 (赤字)	-	▲ 0.43	▲ 0.12	_	_
その他会計(黒字)	_	0. 62	0. 89	0. 48	0. 23

分析欄

平成22年度は、いずれの会計においても収支不足や資金不足は発生していない。

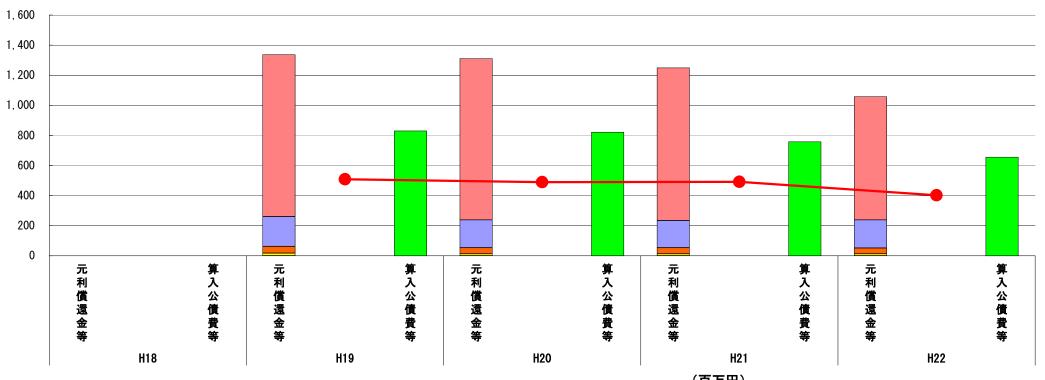
[※]平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成22年度

山形県小国町

(百万円)



						(日万円)
分子の構造	年度	H18	H19	H20	H21	H22
	元利償還金	1	1, 078	1, 073	1, 015	820
	積立不足額考慮算定額	-	_	-	-	_
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	_	-	-	-
元利償還金等(A)	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	197	184	181	186
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	46	41	40	39
	債務負担行為に基づく支出額	_	16	13	13	13
	一時借入金利子	_	_	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等	-	829	821	758	656
(A) — (B)	━━ 実質公債費比率の分子	_	508	490	491	402

分析欄

平成10年度前後までに実施してきた大型事業に係る地方債の償還が終了し、公債費のピークが過ぎたため、元利償還金が大きく減少している。

なお、今後小学校校舎新築等の大規模事業実施に伴う地 方債残高の増加が見込まれるため、自主財源の確保や財源 措置のある有利な地方債制度の活用を図るとともに、継続的 な起債発行の抑制に努めていく。

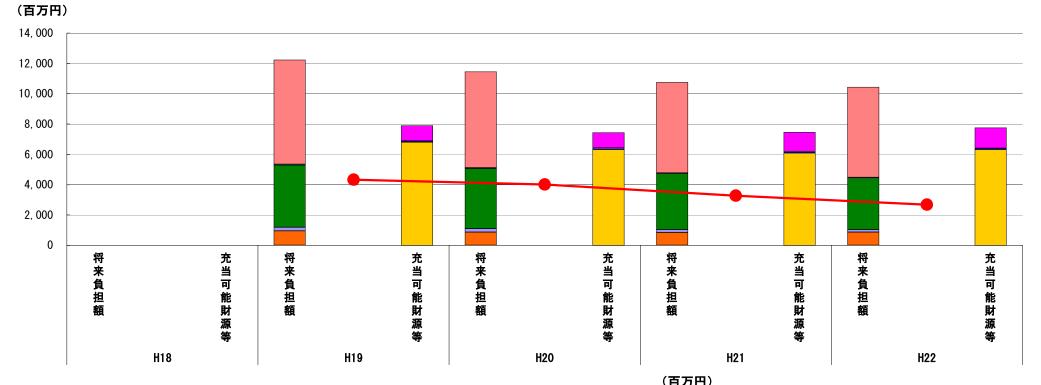
[※]平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

[※]平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成22年度

山形県小国町



						(ロルロ)
分子の構造	年度	H18	H19	H20	H21	H22
	一般会計等に係る地方債の現在高	-	6, 885	6, 328	5, 970	5, 968
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	69	57	46	35
	公営企業債等繰入見込額	-	4, 077	3, 958	3, 685	3, 405
将来負担額(A)	組合等負担等見込額	-	251	227	196	170
付木貝担領(A)	退職手当負担見込額	-	942	873	841	860
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	_
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
	充当可能基金	-	1, 004	1, 011	1, 280	1, 360
充当可能財源等(B)	充当可能特定歳入	-	78	107	96	86
	基準財政需要額算入見込額	-	6, 809	6, 311	6, 085	6, 312
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	4, 333	4, 015	3, 277	2, 680

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

分析欄

病院事業会計等に対する公営企業債繰入の見込額が減少しているほか、財源措置のある地方債を優先的に活用してきた結果、基準財政需要額算入見込額が増加しており、将来負担比率の減少につながっている。

なお、今後も自主財源の確保に取り組み、地方債発行の抑制 または財源措置のある有利な地方債制度の活用を進め、将来 負担の軽減を図っていく。